

小学校統廃合に対応したスクールバス運行について

1 概要

上市町では将来的に町内の小中学校を義務教育学校 1 校に統合することを目指し準備を進めており、本年度から白萩西部小学校及び陽南小学校を上市中央小学校に先行統合した。この先行統合に伴い、第 16 回 上市町地域公共交通活性化協議会にて議案に上げ採択されたスクールバスの各種変更後の現運行状況を報告するもの。

2 スクールバス利用児童の登下校にかかる町営バスの変更内容と運行状況

(1) 陽南小学校区

ア 予約のりあいバス(陽南線)

変更内容： 新屋(2km 未満)の児童及び館(2km 以上)の児童保護者から予約のりあいバス(陽南線)を利用したいとの要望があることから、週 3 回(月・水・金)運行していた予約のりあいバス(陽南線)の第 1 便及び第 4 便を週 5 回(月・火・水・木・金)の運行とし、登下校の時間に合わせて発車時刻を変更した。(火・木の便は祝日の他、学休日は運行なし)

運行状況： 現状登下校に問題なく運行している。

現在 6 名の生徒が通学に利用し、その中でも 2km 未満の児童が多く利用している。(資料 2 - 2 中①)

イ 上市町営バス柿沢・大岩線

変更内容： 陽南小学校区で 2km 以上の児童が町営バス柿沢・大岩線を利用しやすくするために停留所(「柿沢地区会館」「陽南町営住宅」)の新設と時刻変更を行った。

運行状況： 現状登下校に問題なく運行している。

新設した陽南町営住宅からは 21 名の児童が利用し陽南小学校に通学していた児童の主な停留所となっている。(資料 2 - 2 中②)

柿沢地区会館は登校時には使われていないが、放課後に元気ッズ「陽南教室」を利用する児童が下車している。(元気ッズ「陽南教室」の 1 日平均利用者は 7 名)

(2) 白萩西部小学校区

ア 予約のりあいバス(白萩線)

変更内容： 西種・湯神子野(2km 以上)の児童及び丸山周辺(2km 未満)の児童の通学用スクールバスとして予約のりあいバス(白萩線)に登校及び下校時に利用する便を新規追加した。

運行状況： 現状登下校に問題なく運行している。

千石口から 2 名、白萩西部公民館から 5 名、計 7 名の児童が登下校に利用して

いる。その中で 2km 未満の児童は 4 名になる。(資料 2 - 2 中③)

イ 上市町営バス柿沢・大岩線

変更内容： 湯神子及び湯崎野(2km 未満)児童保護者から有料でもスクールバスを利用したいとの要望があることから、児童がバスを利用しやすいように町営バス柿沢・大岩線第 1 便に停留所の新規設置、ルート及び時刻を変更を行った。

運行状況： 現状登下校に問題なく運行している。

令和 6 年度では年間 8 人乗車だった停留所(湯神子)を廃止し、停留所(湯神子北)を新設したが、通学で児童 6 名が利用している。乗車児童全員が 2km 未満ということから上記要望に沿うことができている。(資料 2 - 2 中②)

3 まとめ

小学校の先行統合に伴いスクールバスの各種変更を実施したが現状登下校に問題なく運行している。

柿沢・大岩線、陽南線、白萩線は現在計 46 名の児童が利用しているが、その内自宅からの距離が 2km 未満の児童が 20 名である。「自宅から学校まで 2km 未満だが有料でもスクールバスを利用したい」との声が多くあったことから停留所の新設や時間変更を実施したことでより多くの児童がスクールバスを利用できるようになったと考えられる。